

北海道民放クラブだより

ドキュメンタリー上映会

社会活動の一環として、初めて道内各局が制作したドキュメンタリーの上映会を九月から十二月にかけて、四回実施した。二十年以上前から最近までの作品だが、一般の人でも大勢入場して、「民放の力量を感じた」「大変良い企画だ。来年以後もしてほしい」といった感想を寄せていた。

上映作品リストは次の通り。

○9月24日(火)

『陳情』1966年HBC制作(29分)

『あの海にこだまして・泰東丸捜索の記録』1975年STV制作(47分)

『第九を歌った町・北海道清水町』

1981年HBC制作(50分)

○10月22日(火)

『みんな輝いていたよ・熱中先生ふれあいの記録』1985年STV制作(25分)

『地底の葬列』1982年HBC制作

(79分) 『石狩奇想曲夕張、東京、

そしてベトナム』2007年UHB制作(47分)

○11月19日(火)

『乃木坂46橋本奈々未の恋する文学』2016年HTB制作(25分)

『嘘塗りの骨・アイヌ人骨変換問題の悲痛』2018年HTB制作(25分)

『カムイの鳥の軌跡・オオジシギ2つの物語』2017年HTB制作(45分)

○12月17日(火)

『ニセコルール・守り人の戦い』2017年TVH制作(26分)

『風の音は聞こえない・少年竜二空を飛ばす』1998年STV制作(46分)

『検証。拓銀破たん20年、今伝えたいこと』2017年TVH制作(66分)

第36回煌の会 今宵はスペイン気分

今回は、旧HBC三条ビル地下で31年間続くスペイン居酒屋トロで8月6日午後5時半から開催した。欠席一回、皆勤賞のような皆藤さんの乾杯で開宴、カクテルサンングリアやビール、ワインとスペイン酒肴のタバス、それに店自慢のパエリア等で一時間過ぎた。店内はスペインムード満点だが、24人参加であまり広くない店内

は冷房もいまいちでややつらい。そのあと、お目当てのフラダンスショー。ギタリストと赤と黒のドレスを着た二人のダンサーが登場して迫力満点だった。踊りや歌の解説もあったが、ギターの楽譜はなく、師匠の弾くギターを聴きながら目で指の動きを見て覚えたという。これは初耳で驚きだった。我々からは「靴の底はどうなっているの?」とか「舞台の木は何?」

などの質問もでた。

参加者からは「生の迫力が十分伝わってきて感動した」「むかしスペイン旅行した時の熱気やスパイシーな香りを思い出した」「スペイン料理を堪能した素晴らしい夜だった」等の感想があった。今後の予定は未定だが、良いご意見があればお寄せ願いたい。

秋季囲碁大会 長原七段が優勝

秋季囲碁大会は9月11日囲碁サロン未来にて参加6人で開催された。一局目は抽選、二局目は勝者同士、敗者同士の組み合わせ、三局目は二勝者同士など幹事が決めた。その結果、白番持碁勝ちのきわどい勝負をものにした長原七段が全勝で優勝した。

対局後近くの天ぷら屋でお互いの健闘を称えあった。囲碁の会も高齢化で参加を辞退するメンバーが多い。また、若い会員の入会もなく寂しい限りだ。もっとも本体の民放クラブも会員減少に悩まされていて、会員増強委員会を立ち上げて始末だ。囲碁の会も何かいい手はないかと思案する今日この頃となっている。

